

# 東京農業大学第三高等学校 附属中学校

School Guide 2026



Science

Engineering

Mathematics

Arts

Technology



農大三中でしか体験できない  
生きた知識のフィールドがある





# 新たに広がる、農大三中の学びのフィールド。

農大三中・三高は「実学教育」を基盤とし、中高6年間を通じて生徒一人ひとりの主体的な学び

## 1 中高連携プログラム

### 中高一貫の学びで可能性を広げる

中学校と高校の学びをつなぐ「中高連携プログラム」を実践し、生徒一人ひとりの成長を支援します。6年間を通じて「安心して学べる」「挑戦できる」「未来を描ける」環境を整え、確かな学びの基盤を築くことで、生徒の可能性を広げます。

### 高校の学びを先取りし、新たな挑戦へ

#### ●高校の授業体験

授業見学や授業参加で、早期から高校の学びをイメージし、レベルアップを目指せます。

#### ●探究学習・フィールドラーニング

高校生とともにプロジェクトに取り組み、実社会につながる学びを経験。先輩の探究発表を見学し、思考力・表現力を養います。

### 先輩とともに学び、学校生活をより楽しく！

#### ●高校生による学習サポート

高校生が特別授業を担当し、習熟度別クラスではアドバイザーとして中学生を支援。

#### ●部活動・学校行事での交流

高校生が技術指導する部活動や、百人一首大会・華道体験などの行事を通じ、学年を超えたつながりを深めます。

これらのプログラムにより、高校の学びを先取りしながら先輩との交流を通じて意欲を高め、充実した学校生活を送ることができます。



## 2 全校でのフィールドラーニング

### 学びの礎となる「自ら学ぶ力」を育む「全校フィールドラーニング」

学校全体で共通のテーマを掲げ、実際に現地を訪れることで学びを深めています。自ら見て、体験する学びを大切にし、各教科で得た知識を現地での経験と結びつけることで、理解をより深めることができます。こうした経験を通じて、生徒たちは単なる知識の習得にとどまらず、分野を横断した学びの基礎を築きます。

#### 2025年度実施予定

時期	テーマ	過去の実績 (分野・教科)
4月	東松山を知る	・吉見百穴 (歴史・社会) ・埼玉県平和資料館 (歴史・社会) ・丸木美術館 (歴史・社会)
7月	博物館で学ぶ	・国立科学博物館 (自然・理科) ・東京国立博物館 (人文・社会) ・江戸東京博物館 (人文・社会) ・国立西洋美術館 (美術・芸術)
10月	学問への入口	・さきたま古墳、史跡の博物館 (歴史・社会) ・富岡製糸場、水沢うどん打ち (衣食・家庭) ・JAXA (宇宙/海洋・理科) ・模擬ゼミ体験、東大見学 (歴史・社会)
12月	農大で学ぶ	・世田谷キャンパス 醸造体験、食と農の博物館 (醸造・理科) ・厚木キャンパス (農/動物・理科)



実学をもって人を育み、実りを世界に還す。  
それが農大精神を受け継ぐ、農大三中・三高の使命。

#### 教育理念

不屈 探究 信頼

Indomitability

Inquiry

Reliability

#### 教育方針

地域社会に貢献し、国際社会で活躍する  
「21世紀を担う国際人」の育成を目指す

不屈の精神で幕末から維新を駆け抜けた「榎本武揚」が設立し、明治農学の第一人者「横井時敬」が建学の理念を確立した東京農業大学。農大スピリットといわれるその教育精神は、実学教育の名のもと、農大三中・三高の理念として深く息づいています。

## New Topics

at The Third Junior High School, Tokyo University of Agriculture in 2025

と成長をサポートしています。



### 3 「Core Lab」(コアラボ) オープン!

#### プレゼンテーションエリアとして「Core Lab」(コアラボ)を新設

多目的教室をリニューアルし、新たに「Core Lab」(コアラボ)をオープン。ここでは、授業や行事で得た学びをスライドにまとめ、グループや個人で発表することで、理解を深めるとともに、表現力や発信力を養います。各行事の締めくくりとして成果を共有し、仲間と学びを深め、成長できる環境を整えました。

#### 過去の発表テーマ

**1年次** ・ダイズ栽培 ・自分史 ・フィールドラーニング  
・自分の好きなもの(英語)

**2年次** ・ヒラメの養殖 ・フィールドラーニング ・英語劇

**3年次** ・修学旅行 ・海外語学研修 ・学問研究  
・フィールドラーニング ・SDGs(英語)



### 4 新制服/ニットベスト

#### 新しいベストで、より快適な学校生活

今年度より、本校のベストが布ベストからニットベストへと変更になりました。より動きやすく快適な着心地を実現し、季節を問わず過ごしやすいデザインとなっています。

カラーは3種類を採用し、式典用は全校生徒へのアンケートでネイビーに決定しました!



ネイビー(式典用・指定)



オフホワイト



チャコールグレー

女子はベストの着用が必須、男子は任意です。

### 農大三中・三高 STEAM教育プログラム



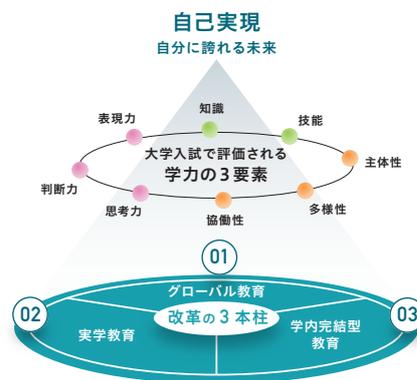
### 農大三中・三高の究理探新※が更なる進化!

農大三中・三高では、「STEAM教育」をベースに究理探新の「実学教育」「国際教育」「キャリア教育」「人間教育」を更に進化させました。文理融合の教科・体験学習を通じて、自分だけでなく、他者を幸せにするための学びの姿勢を構築し、予測困難な未来社会を生き抜く「人間力」を育みます。

※究理探新は、農大三中・三高の教育コンセプトを伝えるキーメッセージです。「究理探新」…道理・本質を究めて新しいものを探る

### 「STEAM 教育プログラム」と連携する 大学入試の先を見据えた農大三中・三高教育改革の3本柱。

絶え間なく変化するこれからの社会を生き抜くうえで必要な、既存の価値観にとられない柔軟な対応力は、知識を詰め込むだけでは到底身につけることはできません。農大三中・三高ではその基盤となる、大学入試改革で問われる「学力の3要素」の育成に向け、「①グローバル教育」「②実学教育」「③学内完結型教育」の3本柱で教育改革を実施。「STEAM教育プログラム」と連携させながら「次世代型学力」を軸とした新たな教育を行っています。



# 大学進学その先へ。 未来を拓き、時代を生き抜く力を育む6年間。

ビジネス市場、技術革新、地球環境。あらゆるものが驚くべきスピードで変化していく現代社会の中で、今後頼りになるのが「世界のどこでも生き抜ける能力」です。農大三中・三高の6年間はまさにそのための育成期間。実学を土台とする多彩な教育プログラムを通じて、自ら考え、行動し、未来を拓く逞しい人材を育てます。

## 触れて、見て、体験する 実学フィールド

[年間行事紹介]

### 基礎力充実期

### 応用発展期

中 1

中 2

中 3

目 標	実学的考え方のベースを創る	能動的にキャリアを選択する
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己を見つめる</li> <li>● 社会と自己の関係について考える</li> <li>● 仕事を知り、生きることの意義を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学を知る</li> <li>● 適切な進路選択をする</li> </ul>
概 要	文章を書いたり、自分が住む地域を調べたりしながら、自分自身や自分と社会の関係について考えます。また、職業調べ、職業体験などを通して、仕事や生き方について考えます。	自己理解や職業知識をベースに大学

クラス編成

習熟度別授業 (英語・数学)

学 力	実学教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・醸造体験</li> <li>・博物館研修 (国立科学博物館・国立西洋美術館見学)</li> <li>・フィールドラーニング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖体験</li> <li>・博物館研修 (江戸東京博物館・東京国立博物館見学)</li> <li>・フィールドラーニング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型修学旅行 (北海道/自然観察・農業・水産業体験)</li> <li>・フィールドラーニング</li> </ul>
	国際教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イングリッシュワークショップ (留学生との交流会)</li> <li>・英語検定</li> <li>・百人一首大会</li> <li>・華道体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルイングリッシュキャンプ</li> <li>・英語検定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語検定</li> <li>・ニュージーランド 語学研修</li> <li>・デザインプレゼンテーション</li> </ul>
進路選択力	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己理解</li> <li>・技術系企業講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業体験</li> <li>・進路講演</li> <li>・技術系企業講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部、学科研究</li> <li>・進路講演</li> <li>・模擬ゼミ体験</li> <li>・技術系企業講演会</li> </ul>
人 間 力	人間教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・浪漫祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・スリーデーマーチ</li> <li>・校内マラソン大会</li> <li>・合唱コンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・浪漫祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・スリーデーマーチ</li> <li>・校内マラソン大会</li> <li>・合唱コンクール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・浪漫祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・スリーデーマーチ</li> <li>・校内マラソン大会</li> <li>・合唱コンクール</li> </ul>





ホームページにて学校紹介とホームステイの様子を公開中!

進路実現期

進学実績

志望大学への  
現役合格



中高一貫教育の集大成!

農大三中・三高の1期から11期の先輩たちが大学入試に臨み、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめとする多くの最難関国立・私立大学への現役合格を果たしています。農大三中・三高では、併設大学である東京農業大学・東京情報大学への「学校推薦型選抜」があり、この制度を利用して進学する生徒も少なくありません。農大・情報大を目指す人にはうれしい制度です。

第1～11期生の主な進学先

- |                |           |           |
|----------------|-----------|-----------|
| 国立<br>公立<br>大学 | 東京大学      | 東京学芸大学    |
|                | 北海道大学     | 埼玉大学      |
|                | 群馬大学(医学部) | 宇都宮大学     |
|                | 筑波大学(医学部) | 茨城大学      |
|                | 防衛医科大学校   | 千葉大学      |
|                | 東京医科歯科大学  | 横浜国立大学    |
|                | お茶の水女子大学  | 浜松医科大学    |
|                | 東北大学      | 東京都立大学    |
|                | 東京工業大学    | 富山大学      |
|                | 東京農工大学    |           |
| 私立<br>大学       | 早稲田大学     | 中央大学      |
|                | 慶應義塾大学    | 法政大学      |
|                | 上智大学      | 昭和大学(医学部) |
|                | 東京理科大学    | 国際基督教大学   |
|                | 東京農業大学    | 学習院大学     |
|                | 明治大学      | 昭和薬科大学    |
|                | 青山学院大学    | 東京薬科大学    |
|                | 立教大学      | 東京女子医科大学  |

高 1

高 2

高 3

大学進学を実現する

- 社会貢献意識を高める
- 将来へのモチベーションを高める

について調べ、これからの進路を実現させる方法を具体的にイメージします。

大学入試に向けて環境を整え、モチベーションを高めます。さらに、興味のある大学のオープンキャンパスなどを通して、大学進学後を意識します。

習熟度別クラス

習熟度別クラス 理系(高2から)

習熟度別クラス 文系(高2から)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドラーニング</li> <li>・サマーセミナー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドラーニング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドラーニング</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語検定</li> <li>・オーストラリア・ニュージーランド 短期語学研修・中長期留学</li> <li>・アクティブコミュニケーション研修</li> <li>・華語講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語スピーチコンテスト</li> <li>・英語検定</li> <li>・修学旅行(オーストラリア)</li> <li>・オーストラリア・ニュージーランド 短期語学研修・中長期留学</li> <li>・アクティブコミュニケーション研修</li> <li>・華語講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語検定</li> <li>・華語講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・文理選択(新書レポート)</li> <li>・進路講演</li> <li>・オープンキャンパス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学研究(探究レポート)</li> <li>・進路講演</li> <li>・オープンキャンパス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路研究</li> <li>・進路講演</li> <li>・オープンキャンパス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・浪漫祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・球技大会</li> <li>・校内マラソン大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・浪漫祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・球技大会</li> <li>・校内マラソン大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術鑑賞</li> <li>・浪漫祭</li> <li>・体育祭</li> <li>・校内マラソン大会</li> </ul>



6年間の  
学び①

中1・2

基礎力充実期

## 実学的考え方の ベースを創る

学習への興味を広げながら、基礎学力を定着させ、英数国は中学での学習内容をほぼ終えます。同時に、自己を見つめコミュニケーションの土台を形成し、社会と自己の関係を理解します。

安心して学べる環境で

たくさんの刺激を受けて成長できる

英語と数学の授業は基礎と発展の2コースに分かれていて、得手不得手に合わせて自分のペースで勉強できます。先生も親しみやすい方ばかりで、授業中はもちろん放課後の自習中に疑問に思ったことでもすぐに相談できる環境なので、疑問点を先延ばしにすることもありません。また、座学の授業のほかに語学研修やヒラメの養殖などこの学校ならではの行事も多く、たくさんの刺激を受けることで日々楽しみながら成長できます！

中学2年 河原 麻利亜 さん

小さな積み重ねが成長のカギ  
生徒の探究心を養う働きかけを

1～2年次は“積み重ね”を大切にしています。最初はできないことも、できるまで繰り返して小さな達成感を積み重ねることで自信になり、「もっと学びたい」「挑戦したい」という意欲がかきたえられることで、主体的な成長につながると考えています。その過程で「本物に触れる機会」を増やしていき、自分の五感を通じた気づきを経験してほしいと思っています。

徳永 友里 教諭



少人数・習熟度別授業で  
わからない生徒をつくらない

学んだ内容がどの程度身についているのかを確認する「サポートテスト」を、主要5教科(英数国理社)を中心に定期的実施します。これにより、できなかった部分について集中的な学び直しを行い、「本物の学力」の定着を図ります。また、苦手意識を持ちやすく、理解度にパラつきが発生しやすい英語と数学は、中学1年次から理解度に応じてクラスを分割する、少人数・習熟度別授業を実施しています。「わかる」ことを重視した授業展開で、わからない人をつくらない。これが農大三中・三高の授業です。

教員、保護者と連携して自宅学習までをトータルサポート  
(自立学習支援システムEdOM)

本校には、学校の教育プログラムの一環として、自立学習支援システム (EdOM) が導入されています。EdOMは、Education (教育)・Opportunity (機会)・Motivation (動機)の3つの頭文字をとって名付けられました。全生徒を対象として放課後に学校内で自習室と講習を実施し、自宅に帰ってからも、Zoomをつないで講習や質問対応を実施します。また、定期的に保護者会や面談を実施し、情報を共有します。生徒の目標の実現に向けて、学校・保護者・EdOMの三位一体で学習をサポートします。



6年間の  
学び②

中3～高2

応用発展期

## 能動的に キャリアを選択する

中学の学習内容の定着を図りながら、ほぼ全教科の高校の学習内容を高校2年までに終わらせます。高校の文理選択後は、自己理解や職業知識をベースに大学を意識した進路実現を考えます。

オリエンティング部で全国大会出場  
やりたいことに全力で打ち込める環境

農大三中・三高は一貫校で高校受験がないため、勉強をしながら自分の興味のあることに打ち込めるのが魅力的だと思います。先生の数も多く、勉強でつまづいたときも学内で疑問を解消できるのでとても安心です。私はオリエンティング部に所属していて、中学2年次には全国大会に出場することができました。高校に進学しても文武両道に頑張りたいと思っています。

中学3年 相原 迪歩 さん

大学入試を見据えた教育と体験  
農大三中だから養えるさまざまな力

3年次は、1～2年で学習した基礎部分の定着を図る段階です。何度も質問できる環境づくりと、取りこぼしのない教育を徹底しています。学校行事も受動的な体験で終わらせず、振り返りやプレゼン発表を行ってもらうことで学びにつなげています。本校では、体験・振り返り・発表を繰り返し行うことで、主体性や発信力といった総合的な人間力の養成に力を入れています。

北田 啓 教諭



### ICTによる効率的な授業と 先取り型の濃密カリキュラム

農大三中では、公立中学校3年間分の授業内容を中学2年次までにほぼ完了することを目標にして、内容の濃い独自のカリキュラムを組んでいます。主要3教科(英数国)に関しては、公立中学校の約1.5倍の授業時間を確保しています。もちろん、単に授業数を増やして詰め込むだけの学習にならないよう、さまざまな工夫をしています。その一例が、電子黒板やタブレット端末によるICT教育です。板書時間を節約し演習時間に充てたり、生徒の解答状況を瞬時に把握したりすることにより、理解度に合った質の高い授業を展開しています。

### 実学教育に基づく英語教育で 大学入学後も使える英語力を

大学での研究や実社会で「使える英語」として磨きをかけるのが、中高6年間の英語教育です。高校2年次のオーストラリア修学旅行では、数班に分かれ農場に滞在するファームステイを実施します。現地では英語による日常のコミュニケーションを、生徒全員が体験します。帰国後は、英語スピーチコンテストを実施するほか、近年大学入試で導入が加速する英語検定等の外部検定でのハイスコアを目指し、ネイティブによる徹底した指導で4技能(聞く・話す・読む・書く)の向上を図ります。

### 自立した学習により自己の 限界突破を目指すサマーセミナー

サマーセミナーは高校1年生の参加希望者から選抜された生徒が参加し、難関大学レベルの講習や自学自習を通して学力を高めるとともに、自分の学習を見つめ直すきっかけとします。学習意欲を十分に高めて、コースを超えて集まった仲間と切磋琢磨し合い、自己の限界突破を目指します。

6年間の  
学び③

高3

進路実現期



## 大学進学を 実現する

担任教員と進路指導部の情報連携で、中学生のときから生徒一人ひとりをきめ細かくサポート。大学入試問題演習を早期より展開し、知識と思考力に磨きをかけ、目標大学への現役合格を目指します。

### 頼れる先生と友だちに囲まれて 生徒会長として実感した学校の魅力

農大三中・三高は生徒みんなが明るく、行事などもとても盛り上がります。先生と生徒の距離が近く、どんな悩みでも相談できる環境です。中学時代に生徒会長を務めていた際には、行事の運営や校則の見直しなどさまざまな場面で支えていただきました。安心して意見を出し合えるからこそ主体性も養われました。農大三中・三高は、いい学校だと胸を張って言える、大好きな母校です。

高校3年 塩澤 彩花 さん

### 大切な時期だからこそ余裕をもって 受験当日まで学力を高め続ける

志望校合格を最終目標とするのではなく、受験を人生の過程ととらえて自分にあった進路を選び、生活リズムを崩さず、行事などの学生生活も楽しみながら、受験当日まで学力を高めていくのが高校3年次で大切なことだと感じています。授業を先取りできる中高一貫校の性質を活かして気持ちに余裕をもって、基礎から応用に至るまで揺らがない学力をつけられるように、これからもサポートしていきます。

江田 晃 教諭



### 多種多様な課外講座(無料)で 希望進路の実現を全力サポート

農大三中・三高では、6年間を通じて無料で受講できる課外講座を豊富に用意しています。高校1・2年次は各教科の基礎的復習と受験に向けた発展的演習を中心に行い、高校3年次は難関国公立・私立大学対策、重要単元復習を中心とした多種多様な講座を開講しています。特に高校3年次は、放課後・夏期・冬期講習に加え、小論文指導や入試直前講習(12月)など、より実践的で効果的な、大学受験を意識した指導を行うなど、生徒全員の希望進路実現に向けた強力なサポート体制を組んでいます。

### 高大連携によるキャリア教育で ミスマッチのない進路を実現

高校3年間で、高大連携によるキャリア教育を継続して行います。令和6年度より高校生対象に東京農業大学・東京情報大学の先生方による特別講義「STEAM教育講座」が開講しました。進路講演では、併設大学をはじめ、さまざまな大学の学部・学科の説明会を実施します。自分が学びたい学問や、将来就きたい職業のために、進むべき学部・学科を調べ、夏休みのオープンキャンパスにつなげます。模擬授業などの体験を通して、大学受験に向けてのイメージや目標を具体化させ、モチベーションを高めていきます。

### 大学合格後へのリアルな想いを 入試を勝ち抜く大きな力に

厳しい大学入試を耐え抜き、勝利を手にするためには「この大学のこの学部で学びたい」という強い想いが必要不可欠です。農大三中・三高では、追い込み期となる高校3年の夏を前に、卒業生による「進路報告会」と30を超える大学の講師たちによる「進路ガイダンス」を実施します。勉強と部活動の両立、模試の活用法や勉強法など、合格者が語るリアルな体験から受験に向けた心構えを学びます。さらに、進路ガイダンスで大学合格後のビジョンを明確化することにより、大学受験へのモチベーションを高めます。



## 中高一貫校の強みを生かして 憧れの医師への第一歩を踏み出した

私は小学生の頃から医師になることが夢でした。それを叶えるため、早い段階から大学受験に集中できる中高一貫校であること、カリキュラムが充実していることからこの学校を選びました。農大三中・三高は「生徒自身の手で触れて理解する」ことを大切にしている、高校3年次に授業が一段落着くと、理系科目は実験をたくさん行い、授業内容の定着を図ります。座学だけでは暗記科目になってしまう内容でも、体験をすることで理解が深まるので、効率の良い受験対策ができました。将来は子どもたちの笑顔を守る小児科医になれるよう、今後も勉強に励んでいきます。

東京女子医科大学 医学部 医学科  
栗原 里沙 さん (2024年度卒)

東京農業大学大三高高等学校を卒業後、東京女子医科大学医学部医学科に進学。塾には通わず、学内の教育システムのみを利用して見事難関校に合格。幼少期から子どもが好きだったことから、保育士になる夢と迷った末に小児科医になることを志す。

## 興味の幅を広げて将来の夢と出会えた「ヒラメの養殖体験」 農大三中はさまざまな選択肢を与えてくれる

生物全般に興味があったため、東京農業大学への内部進学を目指して農大三中に入学しました。その中でヒラメの養殖体験を通して水産業に強く惹かれて、もっと専門的に学びたいと思うようになり志望校を変更しました。将来は、水産業を通して地域活性化のお手伝いができる職業に就きたいと考えています。農大三中・三高では実学教育を通して、ほかの学校では学べない多くのことを経験できるので、水産や生物に興味がある人には特におすすめの学校です。学内完結型の学習支援体制も整っているので、6年間安心して学ぶこともできます。本人次第でさまざまな選択肢を与えてくれる学校には感謝しかありません。

東京海洋大学 海洋生命科学部 海洋政策文化学科  
安江 誠 さん (2024年度卒)

中学1年次から科学部に所属。中学2年次に実施する「ヒラメの養殖体験」では、科学部で培った知識を活かして、学年全体の取りまとめ役を務める。その時の経験から水産業への関心を強めて進路を決定し、志望大学に合格。大学では水産業と地域経済や政策、環境教育等との関わりについて研究する予定。



## 農三に訪れて、自分の目で確かめてほしい 本物に触れ、自分の未来を切り拓く場所

小学生の頃に民俗学に興味を抱き、将来は漠然と関連する職業に就きたいと思っていました。そんな私の夢が明確になったのは、この学校のおかげです。実学的な体験を通して“本物”に触れることで視野が広がったと同時に、“学び”に対して積極的になれたと思っています。そこで自分の興味ある分野を探究してみたいと思い、大学の志望校を決めました。農大三中・三高の先生方は、生徒との距離が近く、勉強以外の面でも人生の先輩としてさまざまなアドバイスをしてくださいました。生徒もみんな明るいので雰囲気がよく、自慢できる母校です。ぜひ一度訪れて、自分の目で見ていただきたいと思います。

國學院大学 文学部 日本文学科  
横森 結香 さん (2024年度卒)

幼い頃から神話や伝承などの本に親しんだことがきっかけで、民俗学の研究を志す。農大三中・三高の国語の授業がわかりやすく、かつ、おもしろかったことに感銘をうけて国語教員になることと迷った時期もあるが、最終的には子どもの頃の目標を追うことを決意。将来は日本文化の維持と発展に寄与するのが夢。



## 医学部・海外大学 進学プログラム

### 高校進学後に医学部・海外大学進学希望者のために 3年間を通して進学プログラムを展開

医学部・海外大学進学希望者に向けて、進学プログラムを準備しています。入試ガイダンス、卒業生による進路講演会、医師・医学生との座談会、医療現場などでの医療体験、海外大学フェアとオンラインオープンキャンパスへの参加、海外大学オンライン授業体験、短期海外留学の紹介などを通じて、モチベーションを高め、目標達成のために一人ひとりの生徒をサポートしていきます。



## 実学教育

### 学びの礎となる「自ら学ぶ力」を育む、 農大三中・三高のアクティブラーニング

実学教育は、学びを深め成長に導く「自ら学ぶ力」を育むための、農大三中・三高ならではのアクティブラーニングです。フィールドラーニング・醸造・養殖といった、五感を使った体験型学習の機会を数多く取り入れています。また、学ぶテーマや授業スタイルに合わせ、電子黒板やタブレット端末などのICT教材を積極的に活用します。学ぶことへの関心・意欲を高め、柔軟な思考力と実践力を育てています。



自然に恵まれた環境で行う実学教育。教科書の枠を超えて、体験したからこそ気づく様々な発見が勉強をより面白くしています。そして学ぶ対象をより深く知ることができます。アクティブラーニングを通して生徒たちはどのように成長したのか。その時の経験を振り返ってもらいました。

.....

#### 未来につながる実学教育

**山中 祐貴 教諭** (以下、山中) 農大三中・三高では、さまざまな実学教育のプログラムを実施していますが、印象に残っているものはありますか？

**笹山** いちばん心に残っているのは、中学2年次に行ったヒラメの養殖です。1クラス2匹ずつ、稚魚から育てるのですが、みんなで分担して餌やりをして、苦労して育てたヒラメを食べる経験は、食に対する考え方を変えてくれました。所属している科学部ではヒラメの稚魚にどの餌を与えればより育つかという実験なども行い、それも思い出深いです。

**小暮** 僕は醸造体験が印象的でした。家族が農業や醸造をしているため知識はあったのですが、一部だけ手伝うのと、最初から最後まで実習する

のとではまったく違いました。農業や醸造の大変さも実感しましたが、それ以上に楽しさを知ることができました。

**山中** たくさんの経験ができたようで嬉しいですね。どのように自分の成長に活かしましたか？

**小暮** 浪漫祭ではヒラメの養殖や醸造体験に関してプレゼンをする機会があり、大勢の前で発表する力がついたと思います。最初は緊張しましたが、繰り返すうちに堂々と話せるよう

になりました。自分の考えを人に知ってもらえる楽しさも知り、よりよく伝えるにはどうすればいいかという視点を持てるようになりました。

**山中** プレゼンの機会が多いのも、農三の特徴ですよ。人前で話す力は大学入試や社会に出てからも役立ちますよ。笹山さんはいかがですか？

**笹山** ヒラメの養殖を始める前に、NPO日本養殖振興会代表理事の方に特別授業をしていただきました。理論を理解してから実習で結果を見て考えるという流れを通して、論理的思考力が身についたと感じます。ものごとを理屈で考える習慣は、理科に限らず、数学や国語などの別の教科を勉強する際にも役立っています。

**山中** 学んだことをほかの科目に転用できるというのは、自分で考えることができている証拠ですね。

#### 「農三生らしさ」とは

**山中** 受験を考えている方へのメッセージはありますか？

**小暮** 実学カリキュラムだけでなく、授業内で発言をする機会がとても多いです。主体的な学習は自分の力になるだけでなく、自分が授業の一部になるよ

うな楽しさもあります。学習環境も充実しているので、自主的に勉強する習慣ができました。できることを増やし、楽しみながら勉強ができる最高の環境だと思っています。

**笹山** 中学の教科担当の先生が高校でも授業をしてくれる場合がほとんどなので、中学時代から大学受験を見据えた勉強ができます。気になったことを聞くだけで、中学の範囲を超えたレベルの高いことを話してもらえるのが楽しいです。興味のあることを探して、納得いくまで考えられる学校だと思います。

**山中** 農大三中・三高の生徒は言われてやるのではなく楽しんで勉強する、指示を待つのではなく自分で考えて行動できる生徒が多い印象です。そんな校風を体現するようなお二人だと感じました。



高校3年  
笹山 航大さん

中学3年  
小暮 龍護さん



### ダイズ栽培／醸造体験

理科実験の基本姿勢が身につく  
ダイズ栽培から始める  
味噌づくり体験

屋上菜園での土壌整備に始まる「ダイズ栽培」と、自ら育てたダイズで行う「味噌づくり」は、「探究心」を育む実学教育の代表的な取り組みのひとつです。理科の学習と連動しながらのダイズ栽培では、比較栽培を行い、生育の違いを観察・検証することで、仮説検証のサイクルや、観察の大切さを学習します。また、味噌づくりを行う東京農工大学の研究室では、麹の種類や醸造のしくみについて大学教授から学びます。



### 養殖体験

ヒラメを自ら育てる養殖体験を通じて  
「命」や「食」の意味について  
深く考える

中学2年次に実施している「ヒラメの養殖体験」は、ヒラメを育てることを通じて、日本が抱える「食」の課題や「命」の大切さへの理解を深めることを目的としたプログラムです。NPO日本養殖振興会代表理事の指導のもと、5つの約束(①みんなで、②協力する、③考える、④行動する、⑤命を大切に)を生徒たちが交わり、養殖をスタートさせます。ヒラメの生態調査レポートを作成しながら、日々成長する魚の命に関わります。さらに、成長したヒラメを自分たちで食べることで、命の大切さと食の意味について考えます。



### 論理的思考力／プレゼンテーション

グローバル社会での  
活躍に欠かせない  
論理的な思考力と表現力を鍛える

農大三中ではアクティブラーニングの一環として、国語の授業で導入される特設カリキュラム「論理の時間」をはじめ、主体的・対話的で深い学びとなる授業の実践に取り組んでいます。自ら課題を持ち、解決方法を考え、議論しながら学習する中で、確かな知識や技能を身につけることができます。机上での学びだけでなく、校外に出向いて実物に触れる「フィールドラーニング」を実施しています。こうした「実学」のもとで、プレゼンテーション能力に収れんする学びを通して、論理的思考力・表現力を高めます。



### 体験型修学旅行(北海道)

農大三中の実学教育の集大成は  
学びと感動に満ちた  
体験型修学旅行

中学3年次に実施する北海道修学旅行は、「体験型」である点が大きな特長です。世界自然遺産でもある知床半島を含む道東の大自然のもと、東京農工大学の北海道オホーツクキャンパス(網走市)の見学にはじまり、水産加工体験(新巻鮭づくり)、北海道開拓の歴史や先住民族であるアイヌの文化に触れるなど、実学教育の集大成にふさわしい最高の学びと感動がここに 있습니다。





## 国際教育

「高い英語力」と「考える力」を使いこなせる、  
骨太な国際人を目指して

多くの日本人が世界で活躍し、自己実現の場が国境を越えて広がる中、国際社会で求められるのは、英語を使いこなす高度なコミュニケーション能力です。農大三中・三高では、自分の国の伝統や文化を理解し、グローバルな視野を育てる多文化交流体験に加え、英語劇やプレゼンテーションといった実践の機会を数多く設けています。英語による表現力を磨き自信を深めます。



海外語学研修や「イングリッシュワークショップ」など、様々なカリキュラムがある農大三中・三高。英語を用いた高度なコミュニケーション能力を備えた、世界に羽ばたく国際人育成に取り組んでいます。実際に研修に参加した生徒に、現場で感じたことを伺いました。

.....

文法よりも伝えたいという気持ちから  
コミュニケーション力の向上につながる

**劉 秋蔚 教諭** (以下、劉) 農大三中・三高では国際教育にも力を入れています。お二人はカリキュラムに熱心に取り組んでいましたが、何が印象に残っていますか？

**堀江** イングリッシュワークショップです。最初は自分の英語が伝わるか不安でしたが、ジェスチャーを交えてコミュニケーションをすることで、英語が完璧でなくても相手に伝えられることがわかりました。

**劉** コミュニケーションは、文法よりも伝えたい気持ちが大切ですね。

**堀江** 本当にそれは実感しました。ワークショップでは、各グループのメンバーがプレゼンを発表していき、その中から代表者を決めて全体発表を行うの

ですが、そのときに留学生の方が「(代表になるのはひとりだけ) みんな勝っているよ!」と日本語で励ましてくれました。言葉が不器用でも、相手には伝わるし、伝えられたほうは優しい気持ちにもなれるし、とても嬉しかったのを覚えています。

**劉** 素晴らしい経験ですね。猪又さんはいかがですか？

**猪又** 私は高校1年次の3月にグローバルスタディツアーでオーストラリアに行ったことです。留学先のクラスメイトやホストファミリーとは英語で会話をするので、実際に話したり聞いたりしているうちに、日本の授業では得られない英語力が身についたと感じました。今年の夏に修学旅行でまたオーストラリアを訪れるので楽しみです。

**堀江** 高校2年次の修学旅行は、私もとても楽しみにしているんです。でも少し不安もあって……ホームステイなどで困ることはありませんでしたか？

**猪又** 最初は自分から話すのが難しかったです。ホストファミリーに質問したいことがあっても、英語でどう聞けばよいのかがわからないこともありました。毎晩「あとき、英語でなんて言えばよかったのだろう」と考えて、調べておいて、翌日には聞けるようにしていました。大変なこともありましたが、その分伝わったときに嬉しかったです！ 堀江さんと同じく、ボディランゲージや単語でも十分に伝えられるので、海外の方とのコミュニケーションに言語の壁は関係ないと思いました。

英語を通して身近なところから広がる夢

**劉** お二人は英語のカリキュラムを通して、さまざまなことを学んだと思いますが、将来の夢はありますか？

**猪又** 私は大学で法律を学びたいと思っているのでグローバルな視点を持って外国の法律問題にも関わっていきたくと思っています。簡単な英語でも伝わるという実感を持ってから、英語を勉強するのが楽しいので、どちらも伸ばしていきたいと思っています。

**堀江** 私はまだ将来の夢は決まっていないのですが、字幕なしで洋画を観られるようになりたいと思っています。小さな頃に吹き替えの洋画をよく見ていたとき、字幕と吹き替えではニュアンスが変わると聞いて、好きな映画のセリフの本当の意味が知りたいと思いました。

**劉** とても良い目標ですね！ 農大三中・三高ではカリキュラムに加えて、修学旅行でも多文化社会に触れられます。異文化に触れることでいろいろな刺激になるはずなので、いろいろと吸収してほしいと思います。



高校2年  
猪又 彩乃 さん

中学2年  
堀江 桜耶 さん



### 日本文化理解／異文化理解 (中1)

## 日本を知り、世界を知る グローバルな視野を育む 2つの視点

「日本文化理解プログラム」では、華道や百人一首などを組み込み、日本の文化に触れて、日本人としての誇りを培います。一方、日本との違いを肌で学ぶ「異文化理解プログラム」では、国内滞在の留学生との3日間の交流会(「イングリッシュワークショップ」)を校内で実施します。世界と日本の2つの視点に立った国際教育で、国際社会の一員としての自覚とグローバルな視野を育てます。



### グローバルイングリッシュキャンプ (中2)

## 語学研修による多文化交流で 世界基準のコミュニケーションを 実践

中学2年で3日間にわたって行われるグローバルイングリッシュキャンプは、多国籍の人と文化が共生するグローバル社会に必要な「世界基準のコミュニケーション」を体験する宿泊型語学研修です。10か国を超える多国籍の方々と一緒に生活しながら、共通語である英語を使い交流を深め、「簡単な英語でもこんなに伝わるんだ!」という感覚をつかむことで、英語を学ぶ意欲につながっていきます。



### 海外語学研修 (希望者対象: 中3~高2)

## 長期留学と同じ環境を体験する 語学研修スタディーツアー

午前は英語レッスンで実践的な英語力を養い、午後は現地の学校に通い、「スクールバディ」と呼ばれる現地の生徒とペアを組んで、授業や学校生活を体験します。多文化が共生するニュージーランドでのホームステイでは、ホストファミリーとの交流を通じて異文化理解を深め、国際人としての意識を育てます。高校入学後は、オーストラリアでの2週間の短期研修に加え、3か月または1年の中・長期留学の機会も用意。段階的な国際体験を重ね、深い国際理解と広い視野を養います。



### 使える英語を目指す教育／受信と発信

## 発表を通じて英語による 表現力を高め 「話す」から「伝わる」英語へ

国際社会で通用する英語力は、知識・技能の習得に加え、豊かな表現力・発信力が必要です。農大三中・三高では英語の受信力・発信力を鍛えるほか、英語による発表の機会を多く用意。その代表となる文化祭「浪漫祭」では、英会話や英語劇、デザインプレゼンテーションなど各学年のレベルに応じた内容で、実践を通じて表現力に磨きをかけていきます。





## キャリア教育

可能性を広げ、自ら考え、選ぶ力を養う、  
実践を重視したキャリア教育

興味を持った大学や職業など自分の将来について考え、その実現方法について、自ら調べ、さらに関心を高め、深く理解します。農大三中・三高では、生徒が主体的・能動的に進路選択ができるよう、キャリア教育にも実学教育を取り入れています。また、技術系企業講演会や進路講演・職業体験など、多彩なプログラムを通じて「働く自分」について考えていきます。



農大三中・三高では、生徒自身の将来の夢や目標を明確にするために、キャリア教育に力を入れています。学年ごとに進路相談を行い、生徒が主体的かつ能動的にキャリアの選択ができるようにサポートしています。2人の生徒に、思い描いているビジョンを聞きました。

.....

### 生徒一人ひとりの夢のために 農大三中・三高の取り組み

**金澤 朋花 教諭**(以下、金澤) お二人は将来の夢が決まっているそうですね。どのようにして夢を見つけたのか教えてください。

**江河** 僕の夢は料理人になることです。父の影響で幼い頃から料理をすることが好きで、小学生のときにはじめて家族や友人に料理をふるまいました。そのときにおいしいと言ってもらえたことが嬉しくて、料理を職にすると心に決めました。

**小島** 僕は公認会計士になりたいと思っています。小学生のときは数学が苦手だったのですが、中学1年次の数学の授業がとても楽しくて、数学や数字そのものが好きになりました。

**金澤** 農大三中では、職業体験や進路相談といった

キャリア教育についても充実していると思いますが、お二人の夢にはそれぞれどのように活かされていますか？

**江河** 職業体験で、実際の飲食店に行けたことがとても勉強になりました。エビの殻向きをしたり、うなぎのさばき方を習ったり、実際にうなぎを焼かせてもらう経験もできて、料理人になったときの具体的なイメージがつかめた気がします。

**金澤** 貴重な体験ができましたね。農大三中の職業体験は本格的ですね。過去には助産師の職業体験で実際の出産に立ち会わせていただいたこともあるんですよ。進路を先生に相談したときに何かアドバイスはありましたか？

**江河** はい。料理人になると伝えたときに、先生から「料理のスキルを磨くだけでなく、お店を開くために経済や経営の勉強をしてはどうか」とアドバイスをいただき、今後の勉強の方向性を決めることができました。

**金澤** 夢の実現に向けてよいアドバイスできたよう良かったです。小島さんはいかがですか？

**小島** 僕は進路相談や受験対策が役に立っていると思います。中学1年次から大学受験の仕組みを知ることができたので、早い段階から受験を見据えることができました。高校に入学するときもこれから3年間どのように学んでいけばよいのかというスケジュールも立てられたので、慌てことなく勉強ができています。これは、中高一貫校かつキャリア教育が充実している農大三中・三高生の強みだと思います。

### 多様な体験と生徒たち 新しい世界のひろがる学び舎

**金澤** お二人は夢を見つけてそこに向かって頑張っている段階だと思いますが、入学を考えている後輩

たちに、この学校での経験を通してアドバイスをお願いします。

**江河** ヒラメの養殖を経て、料理人として命を大切にしようと思いました。夢がない人は夢が見つかる、夢が決まっている人も新しい刺激を受けられる学校です！

**小島** 中学時代に数学がおもしろいと思えたのも、夢を見つけることができたのも、先生が高校の範囲も含めた専門的な話をしてくれたことが大きな理由だと思います。生徒たちも主体的に自分のやりたいことを見つけて取り組んでいます。この学校で学ぶことで自分の世界が広がりますよ！

**金澤** ありがとうございます。これからもお二人の夢を応援しています！



高校3年  
小島 英士 さん

中学3年  
江河 天斗 さん



## キャリアデザインプログラム

### 実学を取り入れたプログラムで 理想の実現に必要な力を習得

中学1年では、自分史の作成、エゴグラム診断などをベースに自分と向き合うことからスタートします。中学2年では、職業調べや職業体験により職業理解を深めます。中学3年では、自らのライフプランを意識しながら大学を調べ、模擬ゼミ体験などを通して学問研究を進め、高校1・2年の間に、高校3年での自己実現につながる適切な進路を選択していきます。理想の実現に必要な力を、6年間をかけてじっくり養います。

#### 中1・中2

##### 実学的考え方のベースを作る

- 自己理解 ●技術系企業講演会・進路講演 ●職業体験

#### 中3・高1・高2

##### 能動的にキャリアを選択する

- 学部・学科研究 ●技術系企業講演会・進路講演
- 模擬ゼミ体験 ●文理選択 ●オープンキャンパス ●大学研究

#### 高3

##### 大学進学を実現する

- 進路研究 ●進路講演 ●オープンキャンパス

6年間を通して多くの講演が行われるのも、農大三中・三高のキャリア教育の特長です。中学1・2年では、人間について考えを深める内容、中学3年から高校2年では、大学生や社会で活躍する卒業生を講師に迎えての講演、高校3年ではさらに視野を広げる内容といったように、進路ステップに合わせて多彩な講演を実施します。高い志を持ち活躍する多くの方々の講演は、豊かな可能性に気づきを与え、進路選択の道標となります。



## STEAM×Career Education

### 中学時代の夢を叶えた卒業生

日本と世界をつなぐ空の玄関口、成田国際空港で働く萩原さん。英語力が必須の職場だが、もともと英語には苦手意識があり、中学入学当時は今の職業に就けるなんて思ってもいなかったそう。そんな彼女がどのようにして苦手を克服し、子どもの頃の夢を叶えるまでに至ったのか、学校生活を通じて成長できたことについて振り返ってもらいました。



#### 英語が苦手だった私が、英語を使う職業に 就職できるまでに成長できた！

私は現在、空港のグランドスタッフとして働いていますが、もともと英語には苦手意識がありました。そんな私が英語を使う職業に就けたのは、農大三中のカリキュラムのおかげです。2年次のグローバルイングリッシュキャンプで英語への苦手意識が薄れ、3年次でニュージーランドへ語学研修に参加する頃には英会話を楽しめるようになり、現地の人とのコミュニケーションを通じて英語力に自信が付き、とても貴重な体験ができました。農大三中・三高にはさまざまな体験プログラムがあるので、ぜひ自分の夢に挑戦してほしいと思います。

ANA成田エアポートサービス 旅客サービス部  
萩原 瑞貴 さん (2019年度卒)

子どもの頃の家族旅行がきっかけで、英語を使う職業や飛行場のグランドスタッフに憧れを抱く。搭乗者数や持ち込み荷物を管理するグランドスタッフは「旅行の最初と最後を笑顔で迎えるスタッフであるとともにフライトの安全を守る最後の砦」という使命感を胸に日々業務にあたっている。



## 人間教育

世界を視野に多様な社会を生き抜く、  
豊かな感性と逞しい人間力を

「なれる未来」ではなく「なりたい未来」をつかむには、その地図となる10年、20年先の明確なビジョンを描く「創造力」、それを実現する力強い「人間力」が必要です。農大三中・三高では、学校行事をはじめ、芸術鑑賞やクラブ活動による情操教育や実践ワークを通じて、国際人にふさわしい品格、他者を理解・尊重し協働できる力を養い、多様な社会を生き抜く人材を育成します。



志望大学への現役合格を目指して学力向上のカリキュラムを組む一方で、学校行事やクラブ活動といった情操教育も推進し、多様な社会を生き抜くための人間形成にも力を入れています。ここでは、クラブに入部している生徒に人間教育の観点から話を聞きました。

.....

### ダイズ栽培を通して養われた 発信力とチームワーク

**畠山 玲音 教諭** (以下、畠山) お二人は農大三中・三高に通うなかで、以前よりも成長できたと思うことはありますか？

**吉野** 小学生の頃は人前で話すことが苦手だったのですが、農大三中に入ってから自分の意見を話す機会が増え、中学1年次のダイズ栽培のスライド発表はハキハキと行うことができました。

**清水** 私もプレゼンが苦手だったので、気持ちがよくわかります。しかも班での発表なので、班全員で協力するのも最初は大変ですよ。でも、農大三中はプレゼンの機会も多いので、3年生になる頃には慣れちゃいますよ。発表もどんどん自信が持てるようになるし、チームワークも磨かれ

ていきます。

**畠山** 発信力もチームワークも、社会に出て役立つからです。早い段階から磨くことができるのは貴重ですよ。

**清水** 自分自身もですが、クラス全体が成長していく感じがしました。一貫校ということもあり、クラスメイトの考え方を知っていくなかで、どう力を合わせるか考えられるようになった気が

します。吉野さんのクラスはどうでしたか？

**吉野** たしかに、クラスの団結力が高まっていくのを感じました。ダイズを1日おきに交代で観察したり、体育祭の大縄跳びを30人全員で跳んだり、徐々にクラスメイトと協力できたと思います。

**畠山** 体育祭は学年で協力し合う応援合戦もありますよね。クラスを超えて、学校全体でまとまりのある学校を目指しています。

### 勉強も行事も全力で取り組んで 学んだ力を実感した学生生活

**畠山** 勉強面で何か変化はありましたか？

**吉野** 小学生の頃はテスト勉強の習慣がなく、中学に入学して最初のテスト結果に落ち込んでしまいました。その悔しさから勉強方法を見直して、学内塾「EdOM」を活用したり、テストの2週間前から勉強したりすることで、学年10位以内に入ることができました。

**清水** 私は、中学時代は思うように学習成果を出せませんでした。勉強熱心なクラスメイトに刺激を受けて成長できたと思います。成績のよい子に憧れて、「自分もそうなりたい!」と思うようになって、勉強を頑張った記憶があります。その考えは部活動でも同じで、最初はなんとなくバレー部に入ったの

ですが、メンバーの活躍している姿を見て、本気で取り組むようになりました。

**吉野** 僕も、テスト勉強を計画的にできるようになってから、所属する科学部の実験係をうまく務められるようになりました。普段は先生が実験の指示をするのですが、自分で計画して実行できるようになりました。その過程で責任感も養われた気がします。農大三中は学習に関する行事も多いですよ。ずっと学校で勉強していると飽きを感じることもあるのですが、勉強会や勉強合宿に参加することで、刺激を受けて気合いを入れ直すことができます。

**清水** 行事は本当に多いですよ！ 私はひとりで抱え込んでしまう性格だったのですが、行事を通して人に頼ることができるようになりました。

**畠山** お二人ともいろいろな面で成長を感じられて嬉しいです。今後も勉強に、行事に、全力で取り組んでいってください！



中学2年  
吉野 允貴さん

高校2年  
清水 惟加さん



### グループコミュニケーション

他者への配慮や  
思いやりを育成する  
グループコミュニケーション型の  
ホームルーム活動

ホームルーム活動では「グループコミュニケーション」という人間関係づくりのトレーニングを行います。これは、あるテーマについて「自分で考える→グループで話す→プレゼンテーションをする」という流れをワークで実践するというものです。協同作業の喜びや連帯感を体感することで、他者への配慮や思いやりを育成します。また、1つの物事を多角的に捉えて考える訓練にもなり、柔軟な思考も身につきます。



### 情操教育／クラブ活動

十代のみずみずしい感性と  
創造力を磨き  
仲間と切磋琢磨しながら  
自己を研鑽する

農大三中・三高では、狂言や講談といった古典芸能、演劇、ミュージカルなど、一流の芸術に触れる芸術鑑賞やクラブ活動による情操教育にも力を入れています。質の高い本物の芸術で十代のみずみずしい感性と創造力を磨き、仲間と協力し切磋琢磨し合うクラブ活動に打ち込むことで自己を研鑽する。五感のすべてで感じるさまざまな体験を通じて、国際人にふさわしい品格と豊かな人間性の土台を築きます。



### 学校行事

実学教育で培った自ら学び考える力で  
全生徒が一致団結して  
目標に取り組む

学校生活を華やかに彩る学校行事の数々。農大三中・三高ではそのすべてを学習の舞台とし、生徒が主体となり自ら作り上げていくプロセスから多くのことを学びます。生徒全員が一致団結してアイデアを出し合う、文化祭「浪漫祭」での展示やプレゼンテーション、体育祭での上級生から下級生へのパフォーマンス指導など、中学1年から高校3年までの全生徒が深く交流しながら、人として大きく成長していきます。



### 食育

生きる基本である「食」から学ぶ  
命を育てる真摯な姿勢と感謝の心

生きる基本である「食」からの学びを大切にする農大三中・三高では、中学3年間、管理栄養士による栄養バランスのとれたスクールランチが、各クラスの教室で提供されます。また、中1の屋上菜園におけるダイズ栽培、中2のヒラメの養殖など、自らの手で育てた農水産物を食し、味わいます。こうした貴重な体験を通して、命の大切さや食べ物へのありがたさを学び、人間教育の礎となる感謝の心を培います。





# 向上心を持ち仲間とともに挑む、 活気あふれる姿がここにあります。

農大三中のクラブ活動は、あくまでも生徒が主体。自分たちで考え、行動し、友人と協力して互いを高め合う。そのプロセスもまた、実学そのものです。前に進むために、さらなる高みを目指すために、知恵と技を結集した結果、たくさんの喜びを共有しています。



科学部



サッカー部



野球部



オリエンテーリング部



陸上競技部



華道部



吹奏楽部



文芸百人一首部



硬式テニス部

※小学校での経験者



バドミントン部

※小学校での経験者



美術部



茶道部

## クラブからひと言! Comment

### 野球部

野球は日常の取り組みがダイレクトに結果に表れます。この点を常に意識し、日々の学校生活を大切に過ごしています。また、仲間を思いやる気持ちを大切に、“試合で勝つ”という目標に向かい、全力で練習に励んでいます。

### 吹奏楽部

楽器未経験者が多い中、入学式・卒業式などの式典や体育祭・文化祭、そして高校生と合同で開催する定期演奏会に出演するために、日々練習に励んでいます。吹奏楽部でしか味わえない楽しみがたくさん待っています。

## 施設紹介

## Facility



自然を全身で感じられる広大なキャンパスで、  
のびのびと成長できる6年間。

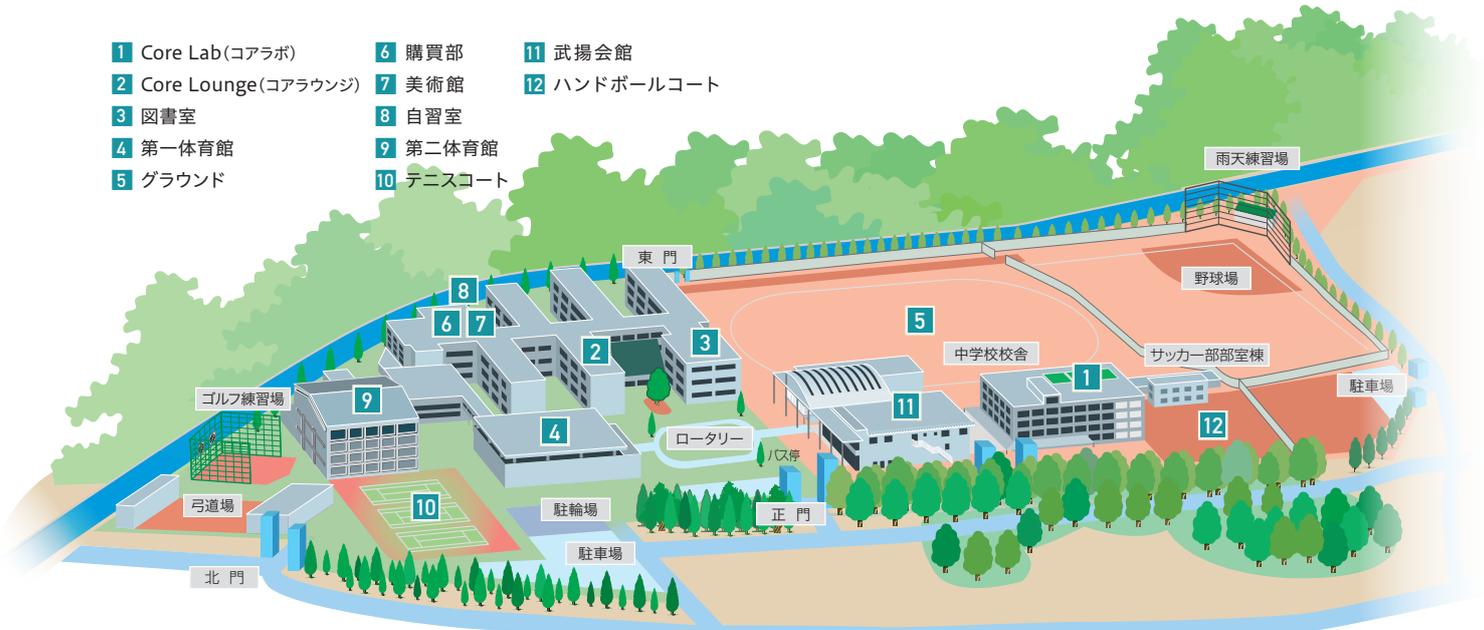


ホームページにて各施設の  
360°パノラマビューを公開中!

埼玉県東松山市に位置する農大三中・三高。

四方を美しい緑に囲まれた静かな環境は、学習に最適な心落ち着ける空間です。実学教育をサポートする充実の施設・設備には、他校にはない専門的な機材もたくさん。次々に生まれる「なぜ?」「知りたい!」を待っています。

- |                       |           |              |
|-----------------------|-----------|--------------|
| 1 Core Lab(コアラボ)      | 6 購買部     | 11 武揚会館      |
| 2 Core Lounge(コアラウンジ) | 7 美術館     | 12 ハンドボールコート |
| 3 図書室                 | 8 自習室     |              |
| 4 第一体育館               | 9 第二体育館   |              |
| 5 グラウンド               | 10 テニスコート |              |



## 制服紹介

## Uniform

さわやかな水色が印象的な制服ラインナップに女子の  
スラックスとネクタイ、ニットベスト(3色)が追加!

組み合わせ  
**100通り以上!**



# 人を幸せにするために学ぶ！

豊かな自然環境の中で、生徒たちは、元気に明るくのびのびと学園生活を満喫しています。「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』の育成を目指す」—この教育方針実践に向けて、農大三中は教育改革に取り組んでいます。「グローバル教育」「実学教育」「学内完結型教育」が改革の3本柱です。

外国人留学生との交流会・語学研修など英語力を高め、異文化理解を深める豊富なメニュー。ダイズ栽培から味噌作り体験、魚（ヒラメ）の養殖研究、北海道修学旅行での新巻鮭づくり体験など、「本物を見て触れて考える」というさまざまな体験型学習の機会。論理的思考力を高めていく場として、「論理の授業」も実施。大学現役合格にむけ、自立学習支援システム（EdOM）を導入するなど実践内容は多岐にわたります。

それぞれの教育活動の中で、生徒たちは、分析や仲間との話し合い、スライド資料の作成、プレゼン専用の新施設「Core Lab」を活用した発表会等、自らの取り組みをデザインしていきます。結果として、授業では経験できない、文系・理系などの枠組みを超えた、文理融合の教育（STEAM教育）を展開していきます。その目指すところは、自分のために学ぶことが、実は他者のために学ぶことにつながり、人を幸せにするという、社会貢献につながる学びの基盤づくりです。

広大なキャンパスでの生活、グローバルな視点での体験、一人ひとりの生徒に向き合い、寄り添う教師陣に囲まれながら6年間を積み重ねていきます。「なるほど!」と心を動かす授業を通して、「まず、やってみよう!」という主体的な学びの姿勢を構築し、「地域社会に貢献し、国際社会で活躍する『21世紀を担う国際人』」に皆さんを育てます。



東京農業大学  
第三高等学校附属中学校  
校長  
神山 達人



## 受験生・保護者対象説明会の詳細はこちらからアクセス！

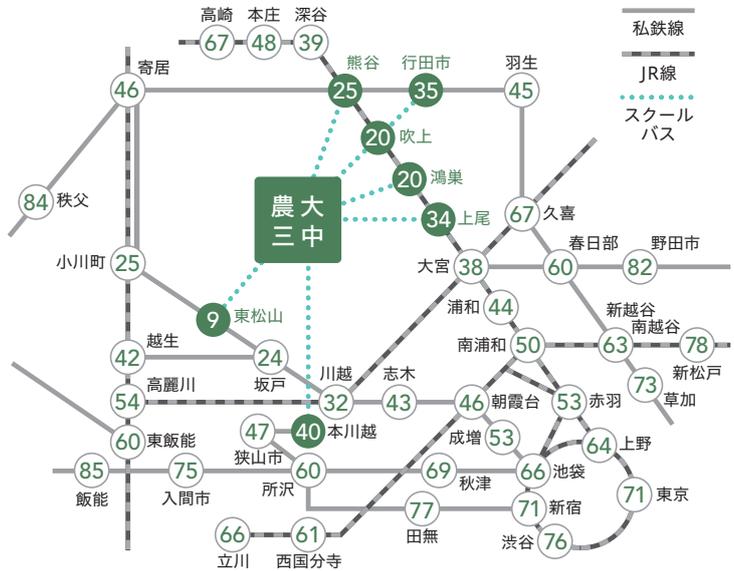
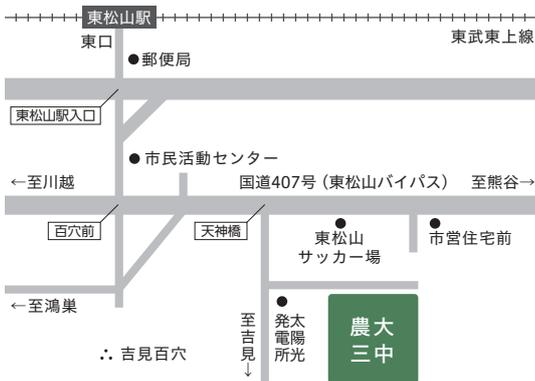
※ご来校時は、上履き・スリッパ等をご持参ください。

※本校開催のみ当日はスクールバスが運行されます。車でご来校はご遠慮ください。バスダイヤは日程が近づきましたらホームページ等でご確認ください。

## 通学範囲・交通アクセス

先輩たちの通学範囲と在籍者数

さいたま市	21	志木市	4	川口市	1
川越市	15	朝霞市	3	狭山市	1
鴻巣市	15	鶴ヶ島市	3	伊奈町	1
東松山市	13	本庄市	3	三芳町	1
熊谷市	7	小川町	3	滑川町	1
富士見市	7	吉見町	3	宮代町	1
桶川市	6	久喜市	2	東京都	29
深谷市	6	所沢市	2	千葉県	1
上尾市	5	新座市	2		
ふじみ野市	5	和光市	2		
行田市	4	日高市	2		
坂戸市	4	北本市	2		
		合計		175人	



- スクールバス発着駅
- 本川越駅 ● 東松山駅 ● 上尾駅 ● 鴻巣駅
  - 吹上駅 ● 熊谷駅 ● 行田市駅

※1. 数字は、駅から学校までの所要時間を表示しており、乗り換え、待ち合わせ時間は含まれておりません。

※2. 上尾駅34分は、鴻巣駅経由の所要時間であり、上尾駅直通のスクールバスを利用した場合、学校までの所要時間は約50分となります。



東京農業大学第三高等学校附属中学校

〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山1400-1  
TEL : 0493-24-4611 <https://www.nodai-3-h.ed.jp>



学校HP



農大三中・三高 公式LINE